



浅野みえ子

所沢市議会議員市政レポート NO.27 23年3月議会報告

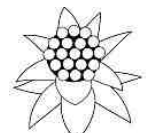
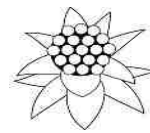
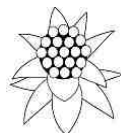
3月11日の東北沖で発生した巨大大地震で、犠牲になられた数多くの被害者の方々に心から哀悼の言葉を申し上げますと共に、避難所での2次被害者が出来ない手だてを心から願い、1日でも早い復興をお祈り申し上げます。それにしても福島原発事故によって、住み慣れた自分の仕事、家、学校、地域の友人との生活がいつ戻ってくるかも解らずに避難されている方々の事を思うとなお一層の心が痛みます。今回は23年3月定例議会のレポートをお届けします

(仮称)総合福祉センター建設反対です・みなさんはどう思いますか？



旧生涯学習センター

障害者の方を介助するボランティアの養成・若者の就労支援等を主にする福祉センターだそうです。又、今まで生涯学習センターを利用していたサークルや、近隣町内会の方々から複合施設の要望が出て、市は福祉以外の学習室も造ると言っています。26年度完成で総額約22億円かかるしその後の維持費もかかります。しかも沢山、公共施設がある新所沢地域に造るのです。地域福祉の時代に総合センターの必要性があるのでしょうか？ボランティア養成や若者支援は現存の施設でも行えます。私は反対です。22億円と言えば11行政区で「コミュニティセンター」が無い地域に住民管理のセンター建設が可能な額です。



議会改革進む : 地方議員の年金が廃止になります

「地方議員の年金のあり方」は法律なので、国会が決める仕組みになっています。私たちは国会議員の方にずっと「早く廃止して欲しい・廃止法案を策定して欲しい」と、訴え続けて来ました。それが理解されて23年6月廃止となります。

現在の状況

- ・市町村合併で、地方議員は約3万6千人となりました(1万8千人減少)
- ・一方で年金受給者は9万4千人います(3倍の議員が支える)
- ・現役所沢市議の掛け金は年間100万円強です。しかも、公金投入も増加する一方で
- ・12年間議員を務めると受給されるのでは(市民の方が掛け金を払っている年金は25年間掛け金を払わないと受給されません)あまりにも不公平です。
- ・市議は国民年金にも加入していますので市民の方と同じになって良かったです。



3月定例議会議・案説明を全て出来ませんが 子ども医療無料化に対して祖母年代からのメッセージを



こども医療費無料化が拡大しました・中学校3年生まで

今年度は10月から施行で 7億4,414万2千円です。対象者は、18,200人
来年は、4月から施行で 8億9,169万8千円と予想されます。

私の会派は「適正受診が行われるように、市は保護者へ伝えるべきだ」と質疑をしました。こども未来部長から「電話相談ですむ場合もあるので県が実施している#8000を周知し、適正受診をして欲しい旨の内容を書いたチラシを作成して周知していく」との答弁がありました。子育て中の方には、嫌われる質疑かもしれませんが、医療費無料化がほとんどない時代に、子どもを育てた私時代のおばあちゃん世代からのメッセージです。子育てを応援しながらも、「なんでもすぐに医者任せではなく子どもに対する献身的な看病の心を保護者の方が無くさないように」との思いもこもっています。また、医療機関による「不正受給」についても「チェック体制を作ります。利用者に明細を出す事の指導、又社会保険事務所で明細のサンプル調査も強めて行きます」との答弁もありました。

市債の年度末残高の推移（市の借金）

	総額	市民1人当たり
平成18年	943億6,023万9千円	27万8,301円
平成19年	919億4,216万3千円	27万0,257円
平成20年	881億1,889万1千円	25万8,438円
平成21年	854億4,731万8千円	25万0,029円
平成22年	852億6,481万7千円	24万8,834円
平成23年	832億8,191万7千円	24万3,047円

市の財政基金年度末残高推移（市の貯金）

	総額	市民1人当たり
平成18年	66億7,762万6千円	1万9,695円
平成19年	44億0,377万8千円	1万2,945円
平成20年	43億0,427万8千円	1万2,624円
平成21年	36億6,294万4千円	1万0,718円
平成22年	28億3,498万4千円	8,274円
平成23年	11億7,500万7千円	3,429円

23年度
一般会計予算
873億3千万円
です。
予算額と同じ位の
借金があります。
その他に、特別会
計予算（水道、下水
道、国保、介護保険、
後期高齢者医療等）
の総額は、
577億4,260万
円です。



みえ子のおしゃべり

少子高齢化の当市です。現役世代の方々の税収が減少している中、「子育て世代への支援」「高齢者の方への支援」が必然的に増額していきます。市債残額が減らないのに、貯金とも言える財政基金が底をついて来ています。今後は人件費（特別職・職員・議員等）の削減は勿論の事。地域福祉の時代に大きな建物の「総合福祉センター」を建設して、その後も維持管理する事は次世代の方々へ借金を残す事だと考えます。



浅野みえ子後援会発行
浅野みえ子事務所：北秋津

792-3

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

<http://asanomieko.cool.ne.jp/index.html>